

## 日本骨髄バンクの現状（平成 18 年 9 月末現在）

	8 月	9 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,029	3,907	260,533	328,792
患者登録者数	199	148	3,286	21,345
骨髄移植例数	69	88	-	7,738

20 歳未満のドナー登録者数  
 9 月 194 人  
 合計 3,925 人（17 年 3 月～）  
 51 歳以上のドナー登録者数  
 9 月新規 112 人  
 延長 206 人  
 合計 4,841 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

### 1 将来展望に関する検討会議の設置について

9 月 20 日に行なわれた常任理事会において、「将来展望に関する検討会議」の設置について審議され、可決されました。この会議は、年間移植件数が 1000 件を超える状況においても安定的に骨髄液を仲介できる体制や、ドナー登録者が 30 万人を達成した後のドナープールのあり方等、骨髄バンク事業の将来のあるべき姿とその実現に向けて取り組むべき課題などについて、各界の有識者によって、検討していただくものです。10 月末から 6 ヶ月程度の期間を設けて実施し、平成 19 年 6 月の理事会、評議員会に答申を行う予定です。

### 2 9 月 30 日「骨髄バンク推進全国大会 2006」開催

10 月 1 日から始まる骨髄バンク推進月間を前に、9 月 30 日（土）パークタワーホール（東京 新宿）において「骨髄バンク推進全国大会 2006」が開催されました。

今回のテーマは“世界一の骨髄バンクを目指して～今、私たちができること～”。会場には全国各地より患者・家族の方々をはじめ、ドナー経験者・登録者、ボランティアの方々など、約 450 名が参加しました。

第 1 部では、日ごろから骨髄バンク事業に多大なご支援、ご協力をいただいている株式会社読売巨人軍、JVC エンタテインメント・ネットワークス株式会社、スーパーバンドに感謝状が贈られました。読売巨人軍からは今年の 6 月にドナー登録をした上原浩治投手が来場して、感謝状が手渡されました。その模様は読売新聞をはじめ、多くのメディアに報道されました。

第 2 部では、第 29 回日本造血細胞移植学会総会会長の岡村純先生（九州がんセンター）による特別講演と、骨髄採取担当医師、移植担当医師、ドナーの方、患者さんや病院の移植コーディネーターなどに参加していただいたパネルディスカッションが行われました。

また第 3 部では、日頃から様々な応援をいただいている、ゴスペルアンサンブル（東京スクールオブミュージック専門学校）、東京学館船橋高等学校（千葉県）吹奏楽部、そして骨髄バンク公認ソング「笑顔のゆくえ」でメジャーデビューをしたスーパーバンドによるライブステージが繰り広げられました。これらの出演者の皆様や、司会、音響、照明などの演出をしてくださった東京スクールオブミュージック専門学校の先生や学生の皆様は、すべてボランティアとして参加してくださいました。

また、麒麟ビール株式会社、JVC エンタテインメント・ネットワークス株式会社、プルデンシャル生命保険株式会社、中外製薬株式会社の 4 社から合計 70 万円の協賛金をいただき、会場費等の運営費用とさせていただきます。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

### 3 巨人軍、上原投手が闘病する子供たちとテレビ電話で交流

10月4日、骨髄バンクの支援活動を行っている読売巨人軍が、支援活動の一環として、東京ドームと東海大学医学部付属病院（神奈川県伊勢原市）をテレビ電話で結び、上原浩治投手が同病院に入院する子供たちと交流しました。

同病院で血液難病等の病気と闘病する子供たちの代表4人が、東京ドームにいる上原投手とテレビ電話を通じて会話を楽しみました。上原投手からは、子供たちを勇気づける温かなメッセージの他に、ひとりひとりにサインボールがプレゼントされました。



今回のテレビ電話は、読売巨人軍をはじめNTT東日本、東海大学医学部付属病院他の協力で実現しました。

### 4 患者負担金改定に関する訂正について

8月1日検査実施分より、患者負担金を改定致しましたが、ご案内の一部に誤りがございました。ドナー候補者の本人確認HLA検査費が10,395円のところ、18,900円と表示されておりました。お詫びの上訂正させていただきます。なお、この検査費は患者負担金軽減積立金から充当されるため、患者負担額の増減はございません。

### 5 国際協力の現状

#### 1) 国際協力の現状

海外ドナーから国内患者へ			登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	移植数	累計移植数
日本	NMDP(米国)		9	6	9	1	107
	BTCSCC(台湾)		9	2	5	1	24
	KMDP(韓国)		10	4	2	0	11
計							142
国内ドナーから海外患者へ			登録患者数	全抗原適合*	コーディネート数	提供数	累計提供数
日本	NMDP(米国)		17	11	19	1	9
	BTCSCC(台湾)		2	2	0	0	0
	KMDP(韓国)		43	36	41	4	122
	その他の国**		—	—	—	0	19
計							150

\* 1人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。

\*\* その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港6件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件、ブラジル2件、ドイツ2件、ベルギー2件、カナダ1件、シンガポール1件、フランス1件。

2) 骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 317人

3) DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 197件

### 6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定	
将来展望検討会議	公開	10月29日(日)13:00~15:00	廣瀬第1ビル2階会議室
常任理事会	公開	11月15日(水)17:00~19:00	廣瀬第1ビル2階会議室